

プロフィール

ジュゼッペ・ブルーノ

1961年2月9日 イタリア、サルザーナ(スベツィア)生まれ

学歴：

普通科高校卒業

1979年 ピエーロ・ルイーダ・ザンジェルミのもとでレツジョ・エミリア、ペーリ音楽院作曲科卒業

1980年 アレッサンドロ・スベッキのもとでフィレンツェ、ケルビーニ音楽院ピアノ科を最優秀成績で卒業

1984年 ジャンルイーダ・ジェルメッティとジャンピエーロ・タヴェルナのもとでミラノ、ヴェルディ音楽院オーケストラ指揮科卒業

マスタークラス：

1984年、1986年 アッシジにてパオロ・ボルドーニのもとでピアノ

1984年 パリにて、IRCAM 作曲

1982年 ザルツブルグにてレオポルド・ハーゲルのもとで指揮

1983年 シエナ、キジャーナにてフランコ・フェッラーラのもとで指揮

コンクール：

1991年 ローマ市ピアノコンクールにおいて2位、同時に“アッシクラツィオーネ・ジエネラーリ”賞受賞

1992年 ヴィオッティ コンクール、室内楽部門において、ヴァイオリニスト、アルベルト・ボローニとデュオを組み、3位入賞

音楽活動：

ピアニスト(ソリスト、室内楽)：

数多くのイタリアの都市でのリサイタル(トリノ、ミラノ、ヴェネツィア、ピアチェンツァ、ボローニャ、ジェノヴァ、スベツィア、マッサ、ピサ、フィレンツェ、マチェラータ、カターニャなど)。1985年より、ヴァイオリニスト、アルベルト・ボローニとともにデュオを組みイタリア全土で演奏。

クインテット・サンドロ・マテラッツイのメンバーとしてスイス、またイタリアで主要な音楽協会として演奏。

イタリア、オーストリア、ドイツ、ブルガリアで共演した素晴らしいソリストの中には、サシユコ

ガヴリロフ、ヴェンゼスラフ・ニコロフ、クリスティーネ・ワレフスカ、また、歌手の中には、ゲイル・ギルモア、ヴィクトル・フォン・ハーレ、モニカ・ベンヴェヌーティがいる。

1987年から1992年まで(1988年は、チャールストンにて)フェスティヴァル・スポレートメンバーとして演奏。

1987年からは、イタリア、アメリカ、ギリシャ、ルーマニア、ドイツ各地において、ベートーベン協奏曲、モーツァルト、ショパン、ブラームス、ダツラピッコラ、ゲディーニ、ザンジェルミ、ニコリを含むレパートリーをオーケストラとともにソリストとして演奏。

指揮：

アンジェリクム、トスカーナ・オーケストラ、OCF(ソリスト、また指揮者として)、チッタ・リリカ、リ・アルモニチ、グロッセート市オーケストラ、フィルハーモニー“ディヌ・リパッティ”(ルーマニア)、デブレチェン・オーケストラ“リスト”(ハンガリー)、YASO、フィレンツェ弦楽団、オーケストラ・クラッシカ・アレッサンドリア、スカラ座弦楽団、ソリスト・フィエーゾレとともにミラノ、フィレンツェ、メッシーナ、ルッカ、ピサ、アッヴェリーノ、ローマで数多くの重要なコンサートを行う。

また、現代音楽にも力を注いでおり、その中でも初演を手がけたものは、ピエーロ・ルイーダ・ザンジェルミ、アツリーゴ・ベンヴェヌーティ、ロベルト・スカルチェッラ、マルコ・ベッタの作品である。その他、共演した主な演出家の中には、アレッシオ・ピッツェック、アンドレア・バッティステイーニ、アルド・タラベッラがいる。

ジュゼッペ・ブルーノはまた、クラシック音楽の中で、数々のレパートリーを持ち、とくに大きな成功を収めたもののなかには、ベートーヴェン第9(ローマ、グロッセート、アレツォ、マッサ、サン・ミニアートで演奏された)がある。

最近の活動のなかには、デュオ・カニーノ-バツリスタと、プーランク作曲オーケストラと2台のピアノのための協奏曲をアッバツィア・ディ・メルコリアーノで共演。

2003年マッサ-カッターラでは、ヴィクトル・ウルマンのオペラ”Der Kaiser von Atlantis”の再演。

作曲、推敲：

室内楽

ソプラノとピアノのための“Cantata”

“Viaggio di Babar”(CD録音)

劇場音楽

オペラ”Tu saresti il Dottor Faust?”(台本 リツカルド・モノーポリ)を2005年3月15日、ジュゼッペ・ブルーノ自身の指揮によりスベツィアにて初演。

オペラ”Carmen”、”Haensel und Gretel”、”L’Enfant et les Sortilèges”のオーケストレーション編曲

録音：

ディアパゾン社による CD (アルベルト・ポローニと共演) 。

フォニット・チエトラ社、アルス・ムジチ社による CD (ウルスラ・シヨツホと共演) 。

SAM社による CD (ピエーロ・ルイーダ・ザンジェルミ作曲オペラ ” *Dammi la Luna* ”)

アルス・プブリカ社による CD (ジュゼッペ・ブルーノ編曲、マーラーの交響曲第 4 番。エリザベッタ・タヴァーニと共演) 。

その他、ボン・ジョヴァンニ社、フォニット・チエトラ社、タクトゥス社からの CD。

ラジオ放送のための録音には、WDR (ケルン)、RSI (ルガーノ)、RSR (ローザンヌ)、RAI (トリノ) がある。

教諭：

1981 年よりイタリア国立スペツィア音楽院。

サルザーナ、サルデーチヨ、ヴェッツァーノ・リグレ、ルーニ、また、オカラ (アメリカ)、モーエン (デンマーク)、イタリア国立ピアチェンツァ音楽院において、ピアノ、室内楽のためのマスタークラス。

協会や大学での講演、また高校音楽教育においては、コンサートやレッスン等、幅広く貢献する。

2001 年、2002 年、“Opera bazar” (トスカーナ州とトスカーナ・オーケストラ協賛)

2002 年、プラートにて、ソプラノ モニカ・ベンヴェヌーティとともに室内歌曲マスタークラス

2002 年、スペツィア県主催、音楽プロフェッショナル・コース。

2004 年から 2006 年、オーケストラ ジョーヴァニ・アルモニチのための指導、ルガーノ、ベッリンゾーナ、ヘルシンキにおいてのコンサートを含む。

2006 年、2007 年、カマイオーレ (ルッカ) において、指揮マスタークラス。

2005 年、2006 年、ヴェッツァーノ・リグレにおいて、指揮マスタークラス。

2007 年、モンテ・ロッソにおいて、指揮マスタークラス。

芸術監督、文化振興

数々の重要な音楽協会とのコラボレーション

1995 年、1996 年、1997 年、1998 年、2001 年、2002 年、2003 年にかけて、マッサ・カッラーラ県フェステヴァル “ルナーティカ” 芸術監督。

2003 年秋より、カッサ・デイ・リスパルミオ・デイ・カッラーラ財団とともに ” Festival pianistico della città di Carrara ” を立ち上げ、毎年素晴らしいソリスト、オーケストラ、室内楽アンサンブル等を招き、大きな成功を収め、現在に至る。